

「第2回」申込期間 6/16～7/10

【子どもの「こころ」に寄りそうこと】

子どもの多様な「こころ」に寄りそうために教員として大切なことを学びましょう。

学び①子どもの心理学～子どもに伴走するために～

やまなし小学校教育講座 田中 健史朗（たなか けんしろう）准教授

学校には多様な「こころ」をもつ子どもたちが一緒に生活しています。「みんなちがって、みんないい」という学校やクラスをつくるために、教員が知っておくべきことをお伝えします。その方法として、心理学の実験を用いて、みなさんにも体験的に学びを進めてもらいます。勉強が好きな子もいれば嫌いな子もいます。運動が得意な子もいれば苦手な子もいます。その子たちが一緒に学ぶことの魅力と意味について考えてみましょう。

学び②子どもとの交流経験から教職の魅力についてみんなで考えよう。

（現職＋学生の発表と参加者のトークセッション）

「第3回」申込期間 7/11～8/4

【主体的・対話的で深い学びを支えること】

教えることを仕事とする教員にとって必要なことについて学びましょう。 8/6まで延長！！

学び①子どもが主体となる深い「学び」とは

大学院教育実践創成講座 梶原 郁郎（かじ いくろう）教授

子どもが主体となる深い「学び」は、私たち教師が主体的に教科の知識を深く理解しておくことによって成り立ちます。私たち教師は、例えば「先生、 $6 \div 2/3$ はどうして $\times 3/2$ にするの？」と質問されて回答できないと、その計算の仕方の意味を深く考えさせることはできません。教師にとっても児童にとっても教科の知識は理解が難しいから、わかる愉しみが生まれます。この愉しみの一例を「学び①」ではみなさんと共有したいと思います。

学び②ICT活用で変わる子どもたちの「学び」

附属教育実践総合センター 三井 一希（みつい かつき）准教授

現在、ファミレスではネコ型ロボットが料理を運び、街中では自動運転の車の実証実験が始まっています。この先、もっともっと便利な世の中になっていくことでしょうか。では、こんな便利な世の中を生きていく子どもにはどんな力が必要となるのでしょうか。そのために教師はどんな授業を行っていけばよいのでしょうか。ICTを活用したさまざまな授業の事例をもとに、ワークを通じながら一緒に考えていきましょう！

「第4回」申込期間 8/11～9/8

【先生になるということ】

思い出の先生はどんな先生でしたか？ なりたいと思う先生はどんな先生ですか？

皆さんの思い描く教師像を考え、語り合い、イメージを広げましょう。

学び①それぞれのミライ予想図を描こう。

附属教育実践総合センター 中込 司（なかご し）特任教授

皆さんは将来なりたい職業は決まっていますか。教員の仕事にとっても魅力を感じているけれども本当になれるかなと決めかねている人、教員以外にもなりたい職業がありどちらにしようか迷っている人、恩師のような先生になりたいと思っている人など、それぞれだと思います。将来の道筋を決めるのは自分自身です。この回では、皆さんの思い描くそれぞれの教師像を語り合い、教員を選ぶミライについてイメージを広げていきましょう。

学び②先人から歩みを聞き、「先生」となるミライをみんなで語りあおう。

（現職＋学生の発表と参加者のトークセッション）



交流

オンライン参加の方も Zoom 内で交流ができるように準備しています。

会場までの
アクセス

【徒歩】JR 甲府駅北口より武田通りを北上 徒歩約 15 分

【バス】JR 甲府駅北口バスターミナル 2 番 → 「武田神社」または「積翠寺」行き → バス停「山梨大学」下車 約 5 分

※「山梨大学 交通アクセス」や「山梨大学 キャンパスマップ」で検索してください。詳細を確認することができます。

問い
合わせ

山梨大学教育学部

TEL 055-220-8104

E-mail edu-hs@yamanashi.ac.jp